

癌化学療法プロトコール

氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **G-CHOP(2コース目以降)**

対象疾患 CD20陽性の濾胞性リンパ腫

診療科 血液内科

施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法 (1,2)

投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
day1				
① 生食	500mL			血管確保とフラッシュ用
② カロナール	1000mg(5錠)			ガザイバ投与の30分以上前に服用
③ ポララミン	5mg/1mL(1A)		生食50mL	15分かけて
④ 生食	50mL			30分かけて
⑤ ガザイバ	1000mg/body		生食250mL	投与速度は特記事項参照 総量250mLで調製
day2				
① 生食	500mL			血管確保とフラッシュ用
② グラニセトロン	3mg/50mL(1袋)			15分かけて
③ オンコピン	1.4mg/m ²		生食50mL	15分かけて
④ ドキソルビシン	50mg/m ²		生食100mL	30分かけて
⑤ エンドキサン	750mg/m ²		生食500mL	2時間かけて
プレドニン	100mg/body		内服	5日間連日内服

2 投与方法の図式

時間 (hour)	1	2	3	4	5
1日目					
①生食				→	
②カロナール	↓				
③ポララミン	→				
④生食	→				
⑤ガザイバ		→			
2日目					
①生食			→		
②グラニセトロン	→				
③オンコピン	→				
④ドキソルビシン	→				
⑤エンドキサン			→		

3 投与スケジュール

1コース21日間。ガザイバは1日目、CHOPは2日目に行う。

7,8コース目はガザイバのみ投与。総コース数8サイクルまで (1,2)

4 特記事項 (1,2)

ガザイバの投与時間
 初回投与時は12mL/h(50mg/h)で開始し、30分毎に12mL/hずつ
 最大100mL/h(400mg/h)まで上げることができる。
 ※ 前回の投与でGrade2以上のinfusion reactionが発現しなかった場合は25mL/h(100mg/h)で投与を開始し、30分毎に25mL/hずつ最大100mL/hまで
 上げることができる。

- ・ ガザイバはインラインフィルター(0.22μm以下)を使用。
- ・ オンコピンは1回の最大投与量は2mg/bodyまで。
- ・ ドキソルビシンは総投与量500mg/m²以上で重篤な心毒性が起こりやすい。
- ・